

# 山本のぶあき後援会だより

yamamoto nobuaki supporters' association news

平成25年  
新 春  
第50号  
飛翔会

発行/奈良県議会議員 山本のぶあき後援会事務所 檀原事務所 〒634-0834 檀原市雲梯町862-1 TEL.0744-24-0148 FAX.0744-24-0149

## 初春に

# 大化の時代 夢を未来に 思い馳せ 日本の維新



新年明けましておめでとうございます。平成二十五年の幕が開きました。

今年最初に思うことは、飛鳥時代六四五年の古代史上の一大改革「大化の改新」と、幕末から明治初期の政治的・社会的変革「明治維新」です。表現や時代こそ違いますが、改めて新しくするということの共通の意味を持ち、日本にとって歴史に残る出来事でした。まさに昨年はそんな年でありました。

実は、自民党を離れたという思いは、かなり以前から持っていました。数年前、県議会の自民党が分離した頃から、不信感のようなものを感じ始めていました。

今年の抱負を語る前に、皆様方に何の相談もなく、昨年十月から年末にかけて「自民党を離脱し、奈良維新の会」を立ちあげた私の思いを説明させて頂きたいと思っております。最初に自民党離脱についてでありましたが、田野瀬代議士から引退するといふ電話を、昨年十月十日にいただき、そのとき、自民党を離れた決意を同時に致しました。

来と自民党改革が合流することが決まりました。派の一本化は達成されず、自民党に在る意義があるのだからか？とますます思うようになり、また、

それが、代議士から突然、引退の電話をもらった。電話を切った。今更で思っていた。士が引退されるのなら、私も自民党を離れよう。と決めたのであります。代議士の引退表明を受けて、自民党としては、選挙が十二月にあるか、十二月十六日投票という日もあり、すぐ候補者選定をしなければならぬ。県連と四区とで公募により、十一月四日に党員大会を開いて候補者決定をする。これが決まりました。

はじまる十月二十五日までに離脱しよう。と決断し、田野瀬代議士に伝え、後援会長はじめ、数人の方に報告をしてから、十月二十三日に自民党県連に離党届けを提出させて頂いた。自民党離党の経緯でありました。

その後は会うこともなかつたのですが、田野瀬代議士引退、私の離党意思を聞いて、大阪維新の会の方から連絡をいただき、昨年十月十七日に、「日本維新の会」に参加した。この時、維新本部から、

「奈良維新の会」を立ち上げるべく、「奈良版維新八策」を作成し、その後の話し合いで、維新本部から承諾があり、十一月十日に大阪府庁で、協定書の調印をしたのであります。

「奈良維新の会」立ち上げに至るまでの私の行動につきましては、短い期間でありましたが、決して予定していたものではないということ、信じていたいただきたいと思っております。

勿論持ち続けています。しかし、政策では、今の自民党よりも、「日本維新の会」の政策に共鳴するところがあり、また、日本の統治機構を変えることを目指すキーマンには、橋下代表しかいないと確信して、そのお手伝いをこの奈良から発信して行きたいと決意致しました。

その後、選挙があり、「日本維新の会」の選挙結果は、このようになり、維新の会が、奈良維新の会として、今日も活動してまいりました。後、活動してまいりました。後、活動してまいりました。後、活動してまいりました。



今年一年が皆様方にとりまして、素晴らしい年になりました。素晴らしを心より祈ります。心より祈ります。心より祈ります。心より祈ります。